

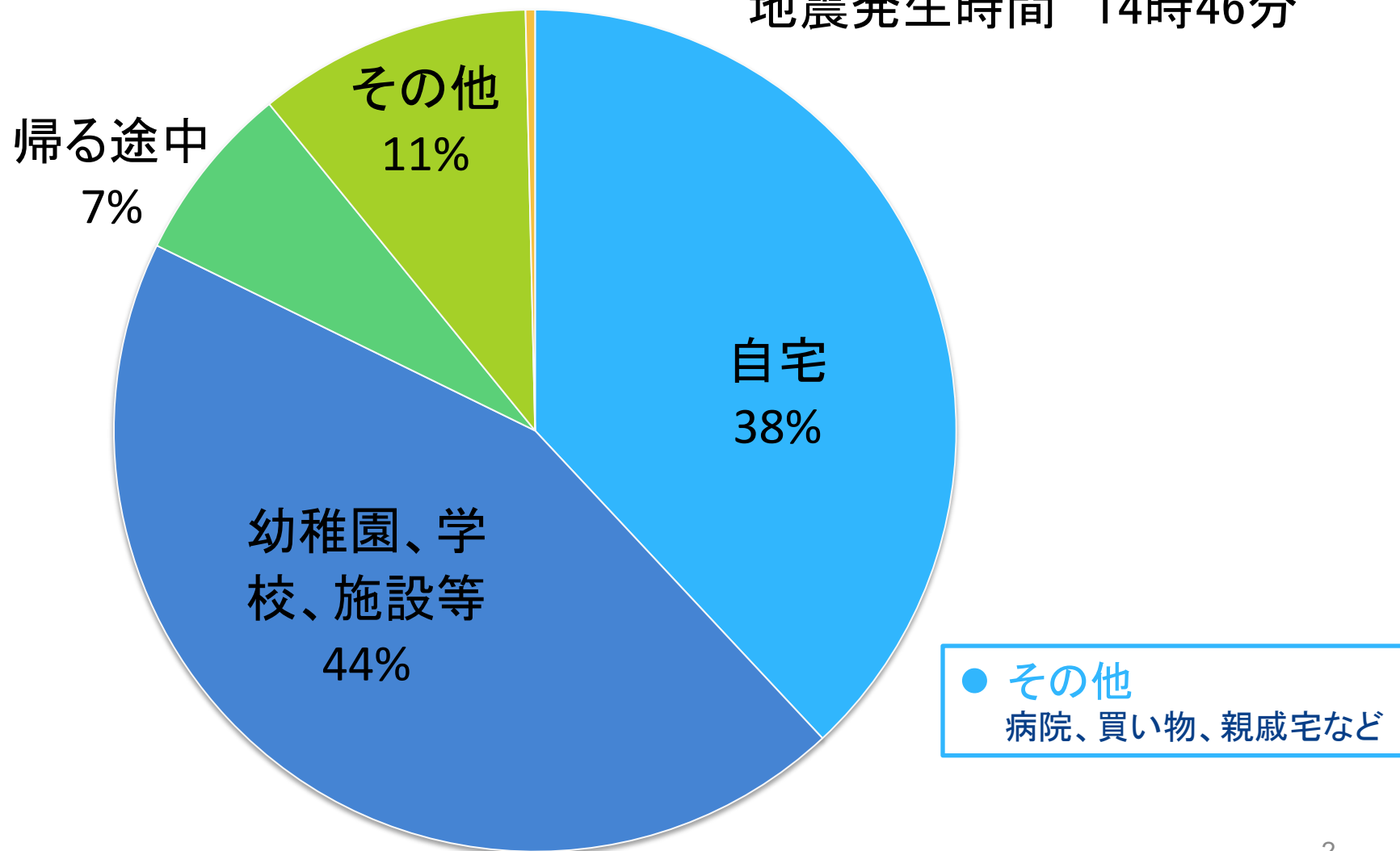
発達障害児・者のニーズを踏まえた 障害福祉サービス等の利用支援に関する調査報告

(その2) 被害と避難の実態

国立障害者リハビリテーションセンター
発達障害情報・支援センター

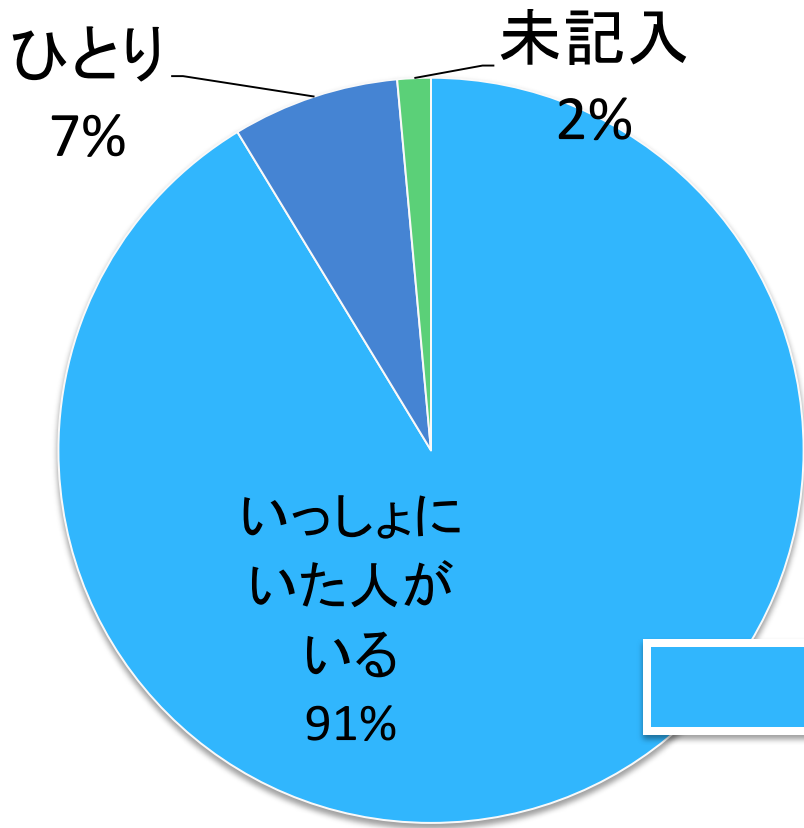
地震発生時どこにいましたか 総数 276人

地震発生時間 14時46分

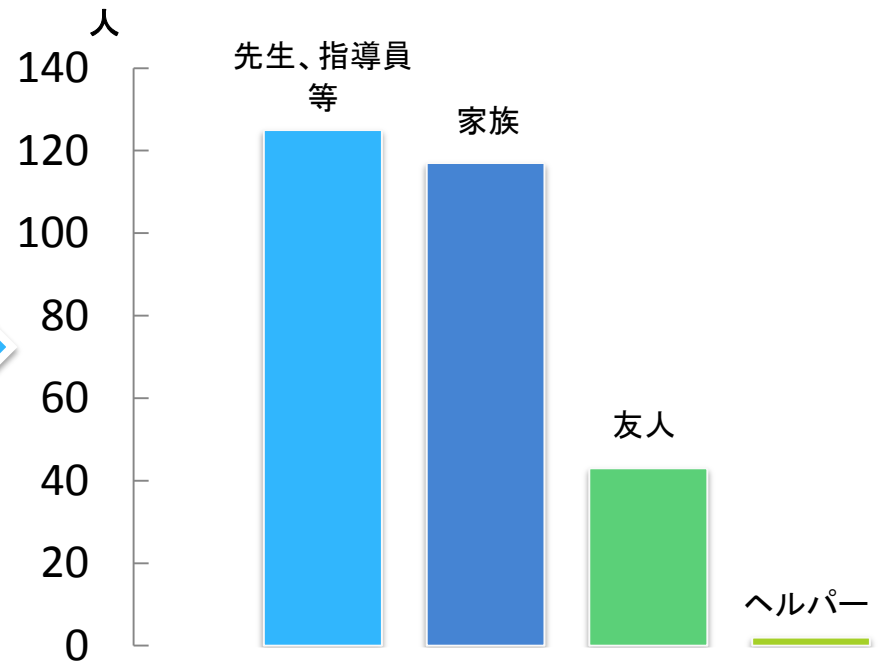


地震発生時 だれかといっしょにいましたか

総数 276人

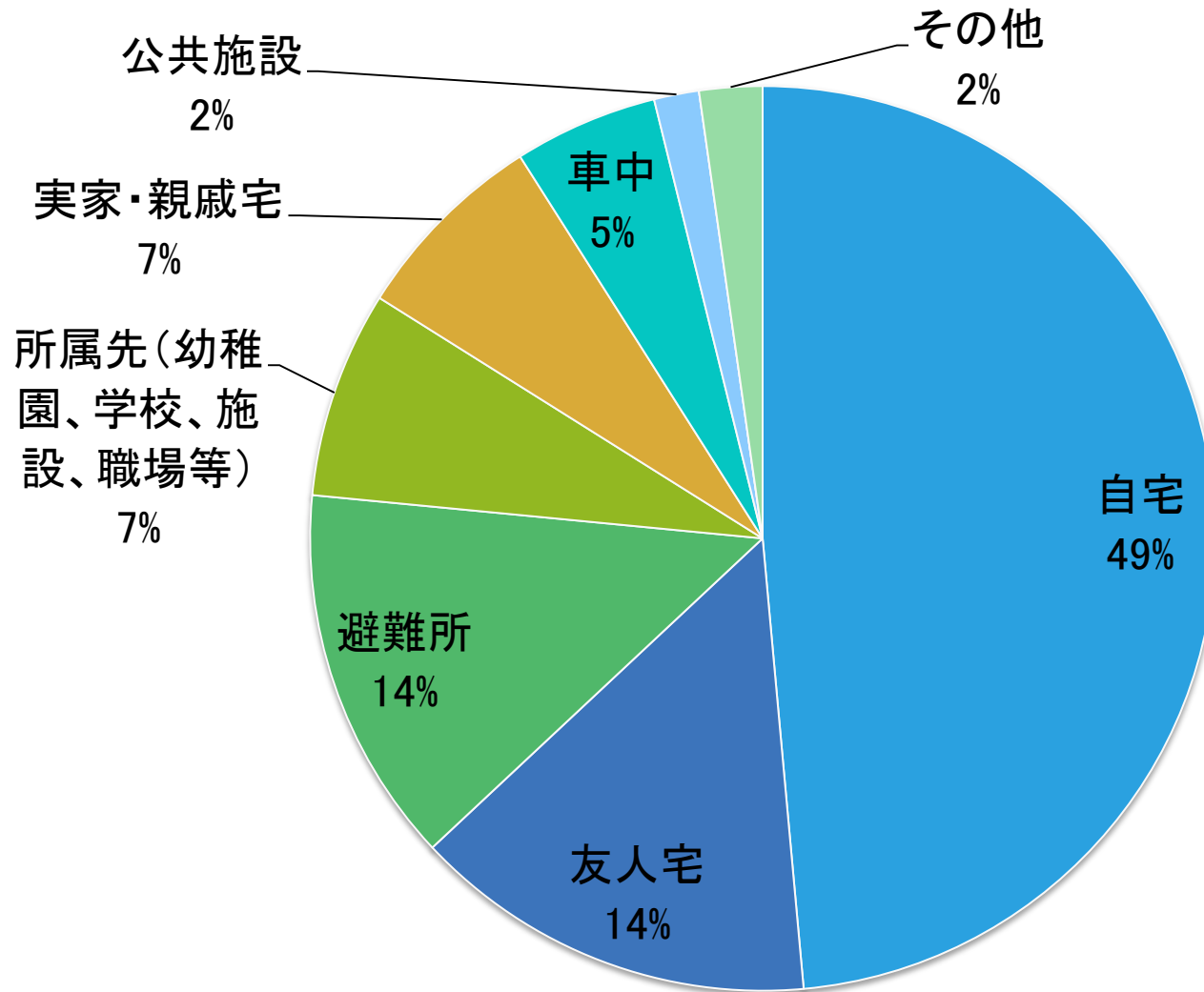


いっしょにいた人はだれですか



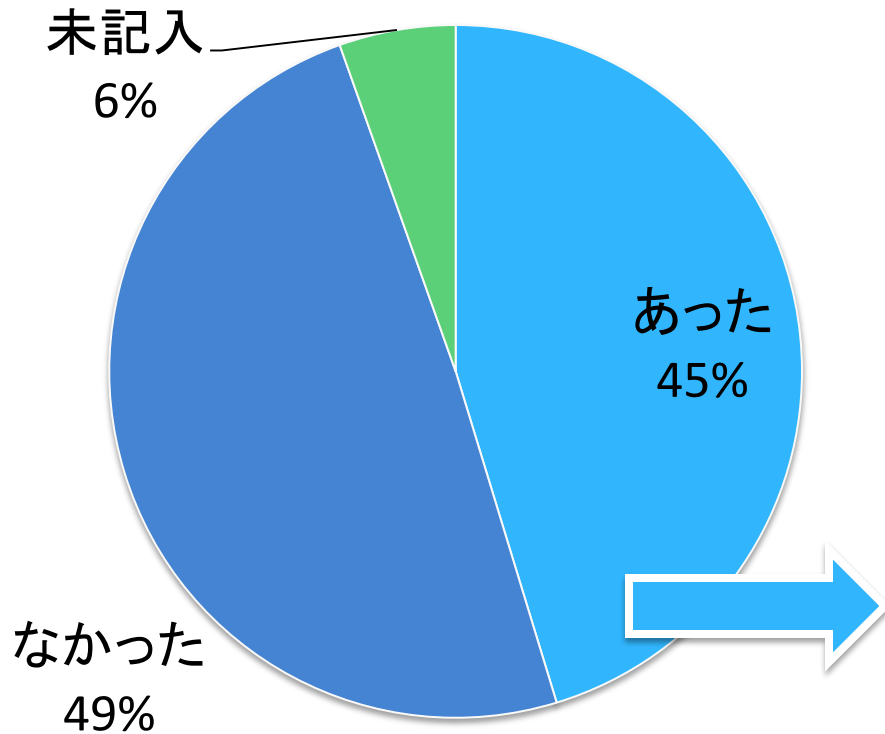
地震発生日に泊まったところ

総数 276人

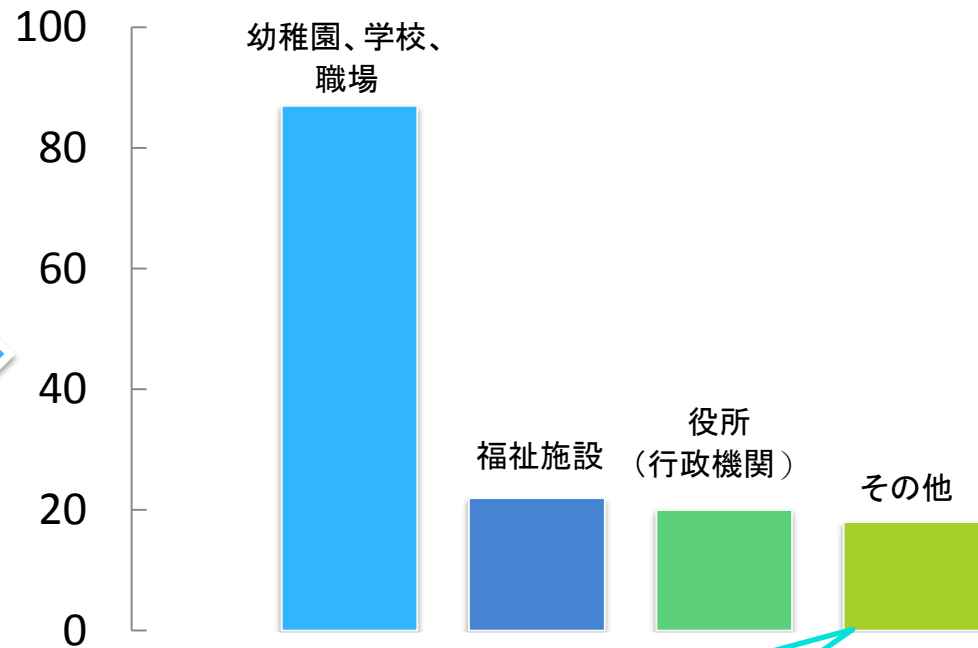


安否確認がありましたか

総数 276人



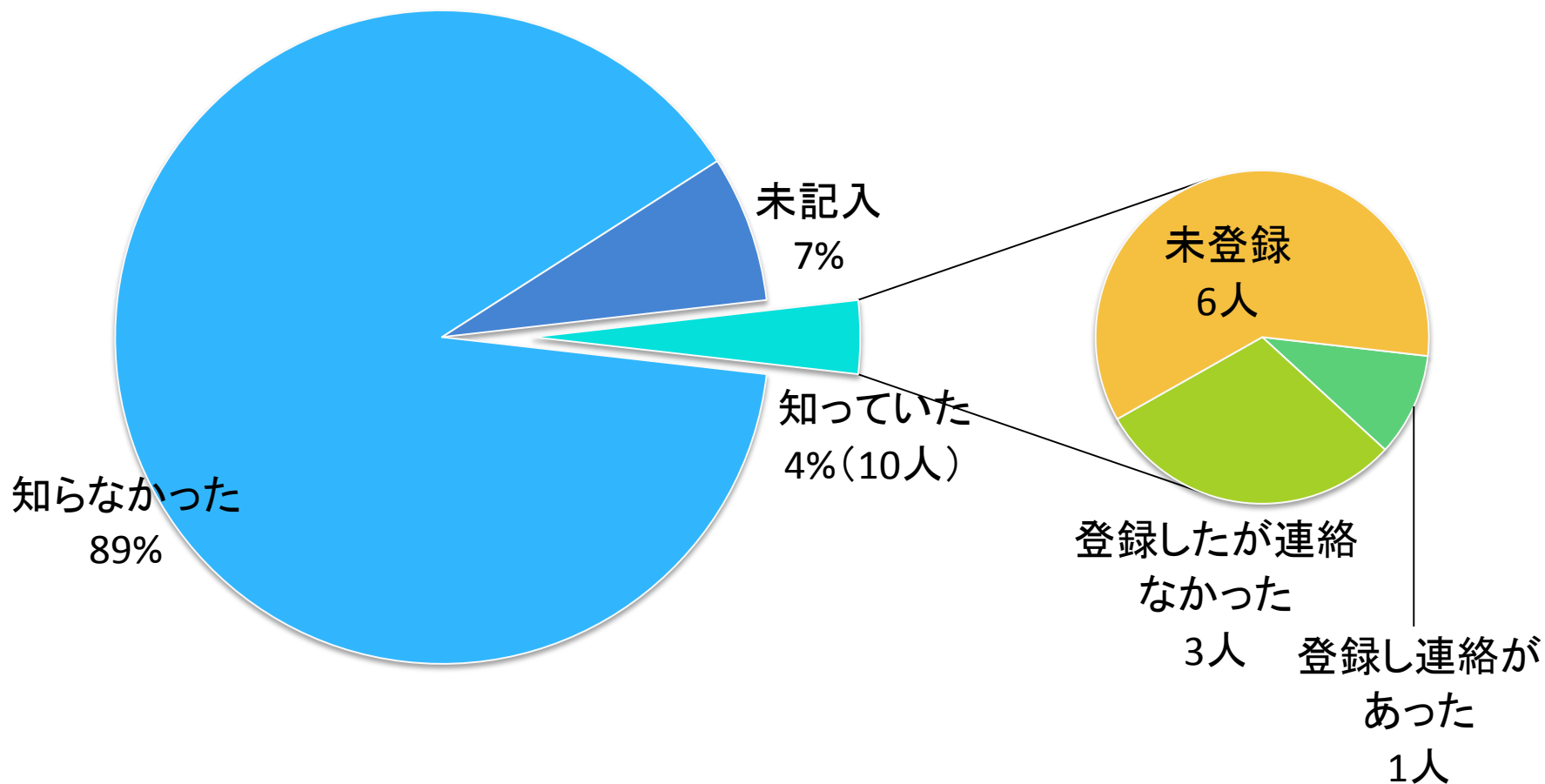
どこから安否確認がありましたか



病院、療育センター
発達障害者支援センター
卒園・卒業した幼稚園、学校等
自閉症協会

要援護者名簿を知っていましたか

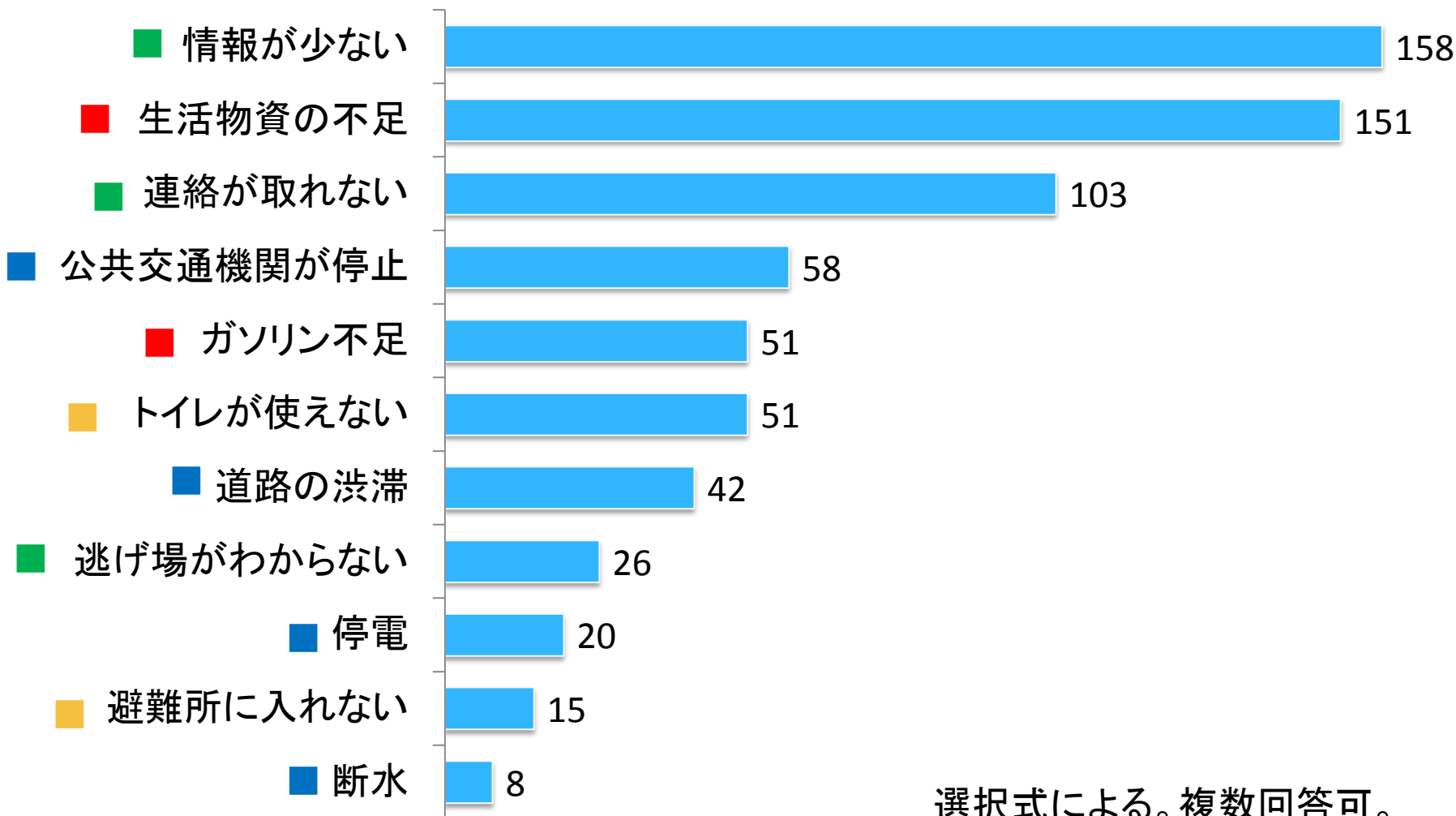
総数 276人



震災直後～数日で困ったこと

総数 276人

(人)



選択式による。複数回答可。

■ 物資 ■ ライフライン ■ 住まい ■ 情報

(分類は発達障害情報・支援センターによる)

自由記述

震災直後～数日で困ったこと(自由記述)

その他、 多かった意見

- 寒くてたまらなかった。
- 不安だった。
 - ・余震をこわがって不穏になった。(6歳)
 - ・地震をこわがるため車内にいたがることが多く大変だった。(8歳)
- ガレキ、道路の寸断で逃げ道の確保が難しかった。

パニックなど

- 子どもが騒ぐ、じっとしてられないなどの理由で、どこで過ごすのも何をするのにも肩身が狭くつらかった。(5歳)
- 子どもがパニックのため避難できなかった。(5歳)
- 先が見えず子どもへ見通しを伝えられなかった。移動時おんぶせざるをえなかった(5歳)

物資など

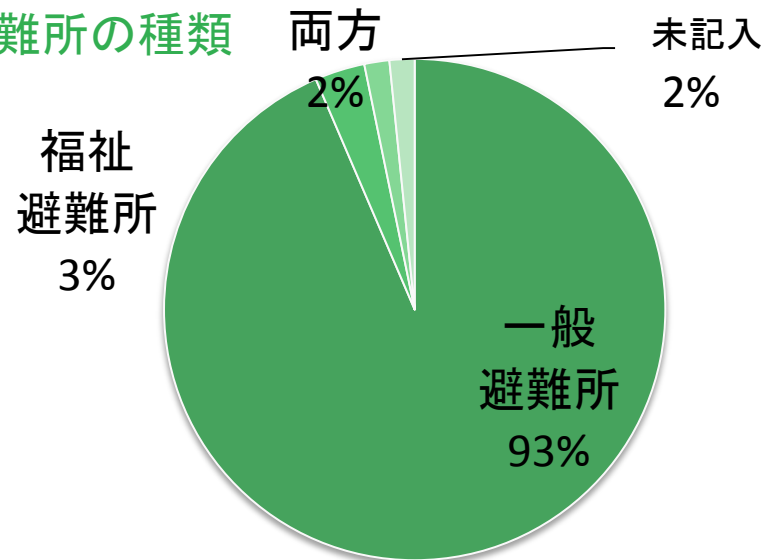
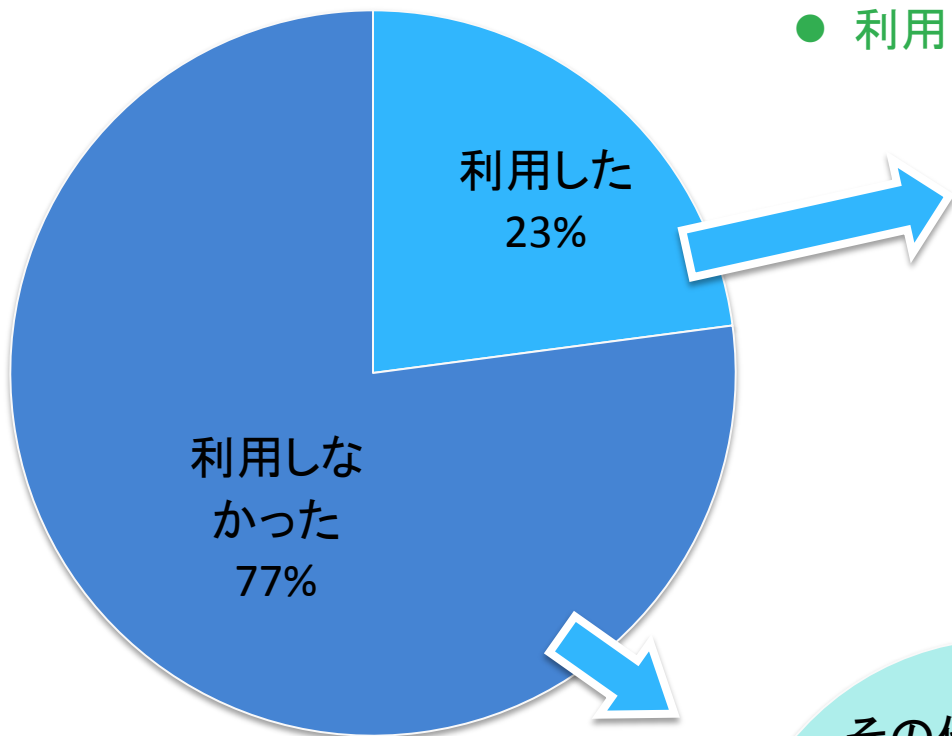
- 病院に避難している人には1度も物資がきたことはなく、すべてお金を払って買っていた。(5歳)
- あせってしまって、毎日飲む薬を避難先へ持ち出すのを忘れてしまった。(5歳)

その他

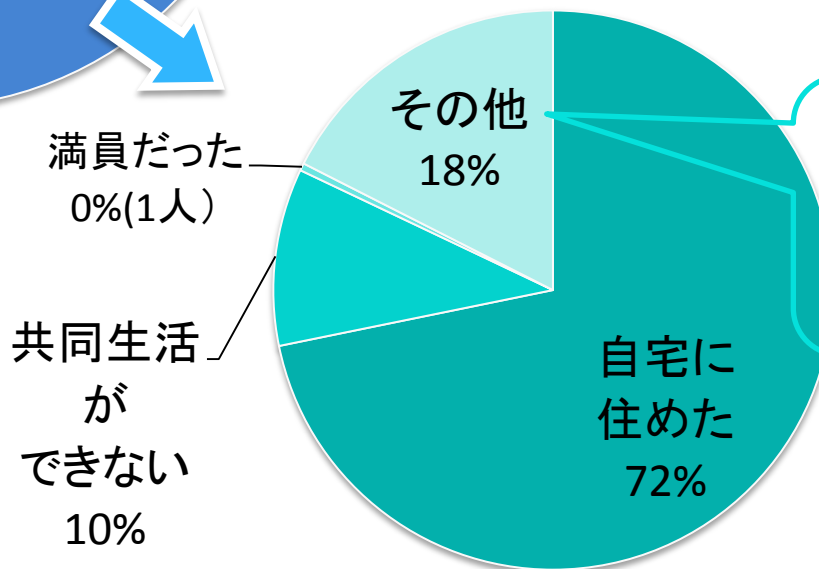
- 何に困ったかわけがわからず、とにかく過ごした。(8歳)
- 通っていた保育園が流され、親が仕事に行けなかった。(4歳)

避難所を利用しましたか

総数 276人



● 利用しなかった理由



● その他

実家等親戚宅に住めた
学校、知人宅に住んだ
施設に入れた

避難所運営に関するの要望や提案(自由記述)

環境について (場所、部屋の 配置、温度・ 騒音など)

- どうしても他の人に迷惑をかけてしまう(我慢できない、静かにできない)ことが多いので、個別に仕切られている場所があればいいと思います。(12歳)
- フェンスやついたてのようなもので視界をさえぎるように作っていただけると、だいぶ落ち着くと思います。(10歳)

物資の支給に ついて

- 偏食があるので支給された物は食べませんでした。(6歳)
- 列に並ぶのが苦手な息子。周囲から叱られパニック。結局並ぶことを断念しました(10歳)
- 避難所を利用することは困難で車中泊等が考えられるため、物資の支給は避難所以外の場所でも提供してほしいです。(11歳)
- おむつを使っているのに「もうする年じゃないでしょ」と1~2枚しかもらえなくてすごく困りました。(5歳)

人的な支援 について

- 障がいのある人たちや、その家族はどうしても、避難所を利用するのは、戸惑ってしまいます。そのような気持ちを相談できるような人がほしいです。それから、手を貸してくれるような人がいてくださったらうれしいです。(12歳)

その他

- 発達障がいは「わがままな子」と思われることが多々あり、本人も家族も共同生活が厳しいのではと思います。(9歳)
- 緊急の時は遠くの福祉避難所より近くの学校などに避難するので、各学校一部屋は障害者枠を作してほしい。一般の人への理解を求めても難しく、特に災害時はいらだっているため邪魔にされてしまいます。(9歳)
- 支援学校や施設も避難所になっていればもっと安心して過ごせると思います。発達障害を持っている方々を理解してくれる支援者がもっと必要だし、福祉避難所も用意する必要があると思いました(16歳)